



IMV CORPORATION

2022年9月期 決算説明資料

2022年12月

目次

Agenda

1. 2022年9月期決算サマリー
2. 各種の取り組み
3. Appendix

目次

Agenda

1. 2022年9月期決算サマリー

2. 各種の取り組み

3. Appendix

22/9期 トピックス (メンテナンス部門と海外販売の伸長)

Key Message

エンジニアリングサービス

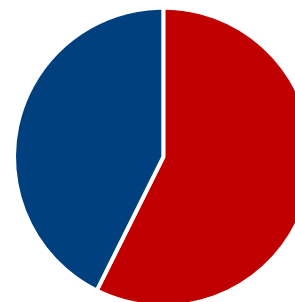
- 販売後の製品点検・修理を行う
メンテナンス部門の売上が伸長
- 前期より開始したISO17025校正
(認定校正機関の証明書発行) が本格始動

	前年度比
設備の部分更新	129%
メンテナンス	117%
ISO17025 (認定校正機関の証明書発行)	本格的に サービス提供開始

振動シミュレーションシステム (DSS)

- 海外での販売が伸長し、売上高に占める海外比率が増加
- 特に米国において過去の取組が結実し売上が大幅に増加
- 中国大手認証機関への導入など、他拠点においても売上が伸長

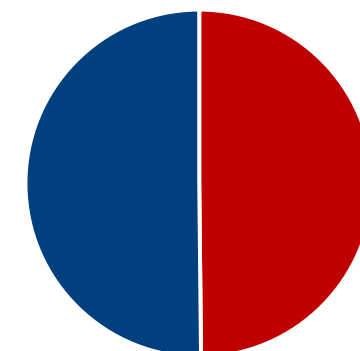
21/9期 国内外売上高比率



■ 国内 ■ 海外

22/9期 国内外売上高比率

DSS事業
105%



■ 国内 ■ 海外

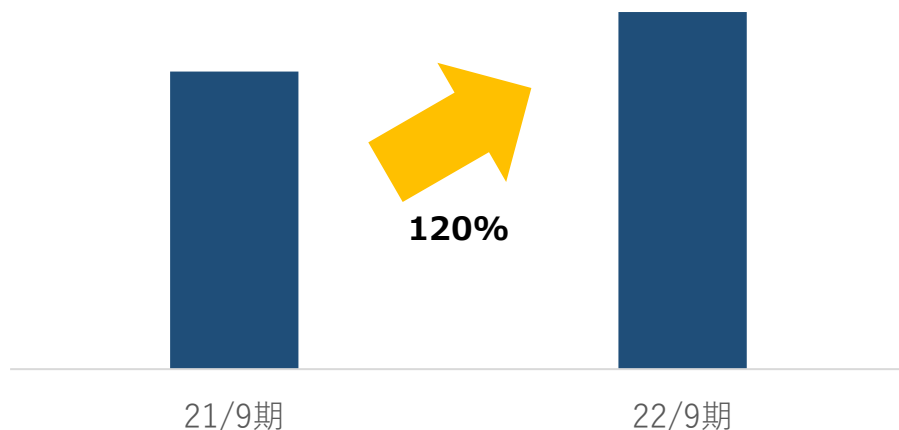
22/9期 トピックス (COVID-19、半導体不足の影響からの回復予想)

Key Message

振動シミュレーションシステム (DSS)

- 2020/10月~2021/4月
COVID-19の影響で顧客が投資自粛
→製造期間の都合で2021/10~2022/4月販売分に影響
国内市場での販売に苦戦
- 来期受注残高 (日本国内) は好調のため揺り戻しを予想

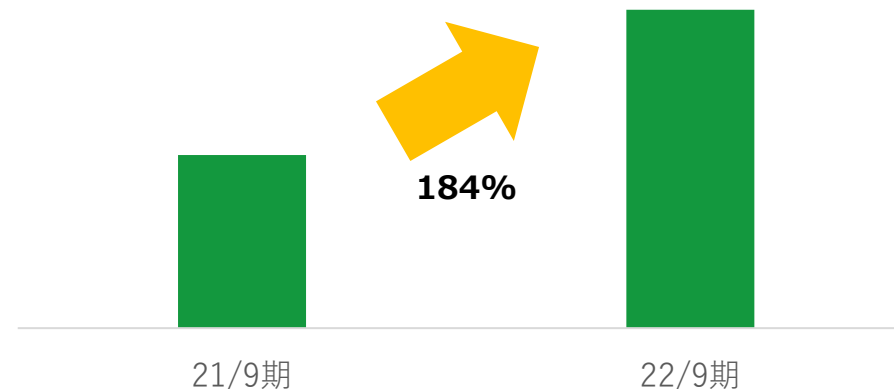
■ 受注残高 (国内)



メジャリングシステム (MES)

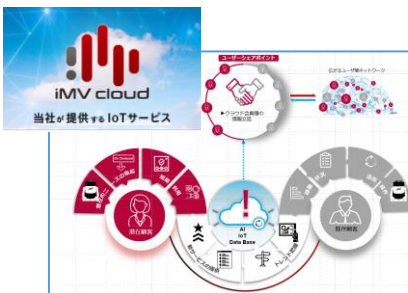
- 半導体不足による納期遅延や、
COVID-19の影響により海外市場の動きが悪かったことから売上が低迷
- 来期受注高は好調のため揺り戻しを予想
- 新たな事業の構想により現状からの脱却を図る

■ 受注残高



22/9期 トピックス (76期の重点取組)

研究開発戦略



iMV cloud初期版をリリース
稼働状況データの共有、リモート
操作、試験傾向の分析が可能に
今後も機能追加に向けた研究開発
を継続予定

グローバル戦略



欧米中での活発なEV及びバッテ
リー開発を受け、大型機 (K350・
K200) の海外売上が伸長
さらに、海外におけるメンテナ
ンス需要も増加しており、IMV
Americaにおける保守・点検体制
の拡充を実施

重点成長事業 (防災事業)



国立研究開発法人防災科学技術研
究所 E-ディフェンスにおいて、次
世代地震計の実証検証を実施
製品化に向けた開発を継続

宇宙ビジネス



ロケットベンチャー企業であるイ
ンターステラテクノロジズ株式会
社に出資
技術交流を通じて、宇宙ビジネス
の可能性を探っていく



22/9期 業績の概況（全社）

Key Message

- 中期経営計画「単なるモノ売りビジネスからの脱却」の下、クラウドシステム“iMV cloud”初期版をリリース
インターネットテクノロジー株式会社への出資などにより宇宙ビジネスへの価値提供を模索、
ミシガン州立大学との技術提携や大手顧客との新しい取り組みをはじめ、より顧客との結びつきを深めた
- 売上高は振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスの伸長によって増加
営業利益は研究開発費の増加や、運送費用の世界的な高騰が影響し減少
- 受注高実績及び受注残高は増加しており、来期は売上高12,500百万円（当期比5.1%増）
営業利益1,000百万円（当期比21.3%増）の達成を目指す

（単位：百万円）

	21/9期	22/9期	前年 同期比	23/9期 業績予想	
売上高	11,576	11,888	102.7%	12,500	半導体の供給遅れによる電子部品不足の影響など、 不透明な経営環境下においても増加
営業利益	1,067	825	77.3%	1,000	研究開発費の増加や、 運送費用の世界的な高騰に伴い減少
受注高実績	11,550	13,786	119.4%	-	受注残高も含めて増加、次期売上伸長を見込む

22/9期 業績の概況 (事業別)

Key Message

- **振動シミュレーションシステム (DSS)**
海外市場は欧州・米国・中国で電気自動車向け大型案件に恵まれ前年同期を上回る。また、サービス部門においても需要が増加。一方、国内市場は自動車関連業界の設備投資の回復が遅れた影響と、前年同期に大型案件が計上されていた反動もあり減収
- **テスト&ソリューションサービス (TSS)**
前年同期はCOVID-19の影響による受託試験の延期などにより低迷したものの、本年度において電気自動車向け部品やバッテリー試験を中心に回復がみられた。加えて、日本高度信頼性評価試験センター (e-TCJ) におけるEMC試験や環境試験も伸長
- **メジャリングシステム (MES)**
国内市場では電子部品類の供給不足を受けて各種製品の生産に制限を受け、海外市場においてはCOVID-19の影響で主力であるフィリピン向け地震監視装置の販売が伸び悩み、前年同期を下回る

(単位：百万円)

	21/9期	22/9期	前年同期比	
振動シミュレーションシステム (DSS)	8,364	8,791	105.1%	海外市場とサービス部門の伸長により増加
テスト&ソリューションサービス (TSS)	2,026	2,237	110.4%	振動試験の需要回復と、EMC試験 (Electromagnetic Compatibility) や環境試験が伸長
メジャリングシステム (MES)	1,184	860	72.6%	海外ロックダウンや電子部品類の供給不足が大きく影響

決算概要（連結）①

（単位：百万円）

	21/9期	22/9期	前年同期比	コメント
売上高	11,576	11,888	+312	●売上高はDSS事業及びTSS事業の伸長により増加
営業利益	1,067	825	△242	●営業利益は“iMV cloud”への投資を含む研究開発費の増加（382百万円）や、運送費用の世界的な高騰が影響し減少
経常利益	1,310	1,237	△73	
当期純利益（親会社株主帰属）	937	1,065	+128	●為替差益や投資有価証券売却益により、当期純利益（親会社帰属）は増加
1株当たり当期純利益	57.52	65.42	-	
売上高営業利益率	9.2%	6.9%	△2.3%	

決算概要（連結）②

（単位：百万円）

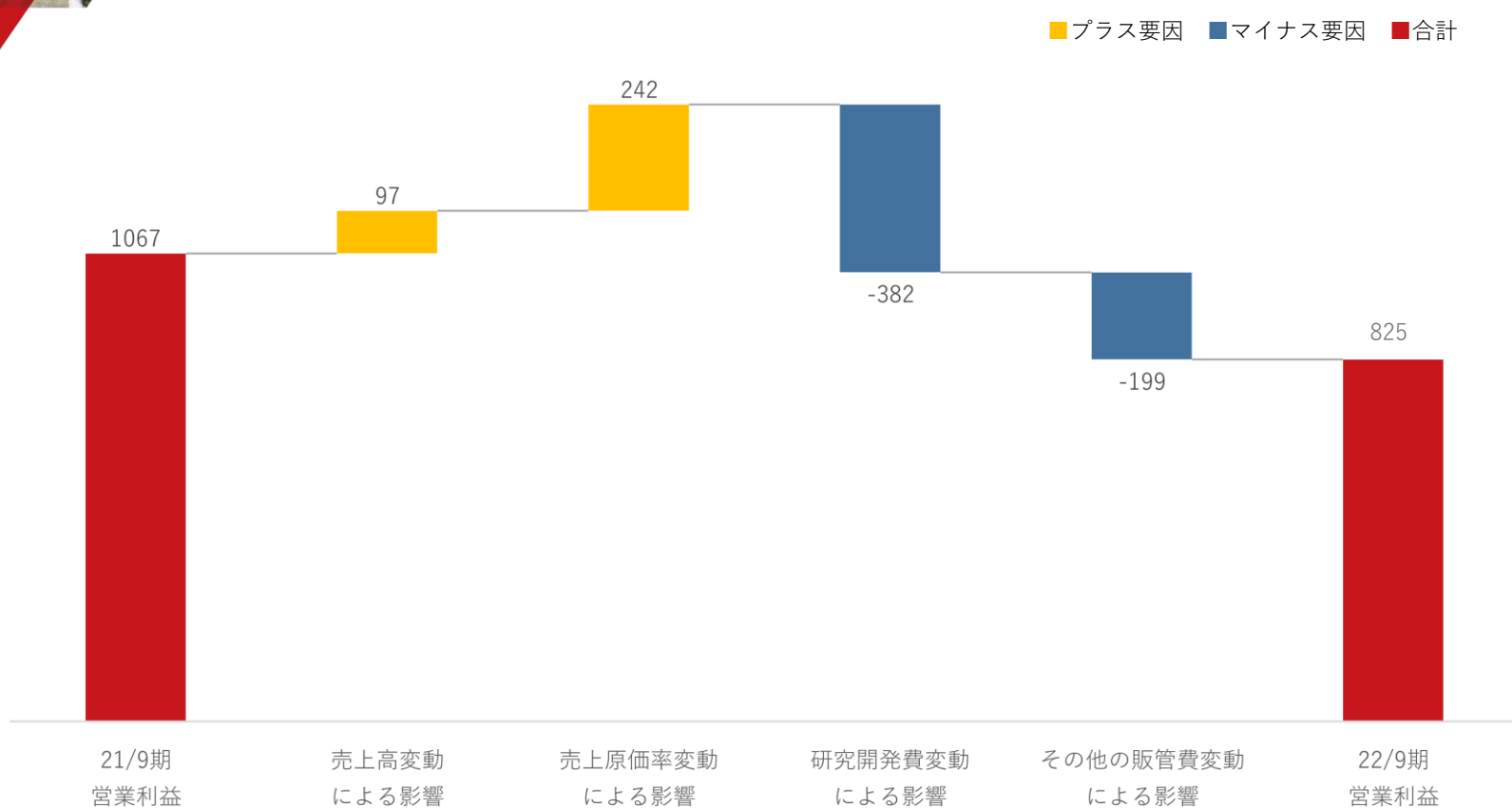
	21/9期	22/9期	前年同期比	コメント
営業キャッシュ・フロー	2,098	742	△1,356	●前期業績を受けた法人税等の支払額増加と棚卸資産の増加により、営業キャッシュ・フローの増加額は前年同期比で減少したものの、プラスを維持
フリー・キャッシュ・フロー	1,936	553	△1,383	
現金及び現金同等物残高	3,652	3,273	△379	●期末現金は引き続き潤沢に保有
自己資本	7,514	8,275	+761	●有利子負債の削減が進んだ結果、財務安定性は向上
自己資本比率	43.9%	48.8%	+4.9%	●ROEは上場企業の製造業平均（9.5%）を大きく上回る
自己資本当期純利益率（ROE）	13.2%	13.5%	+0.3%	

決算概要（連結）③

（単位：百万円）

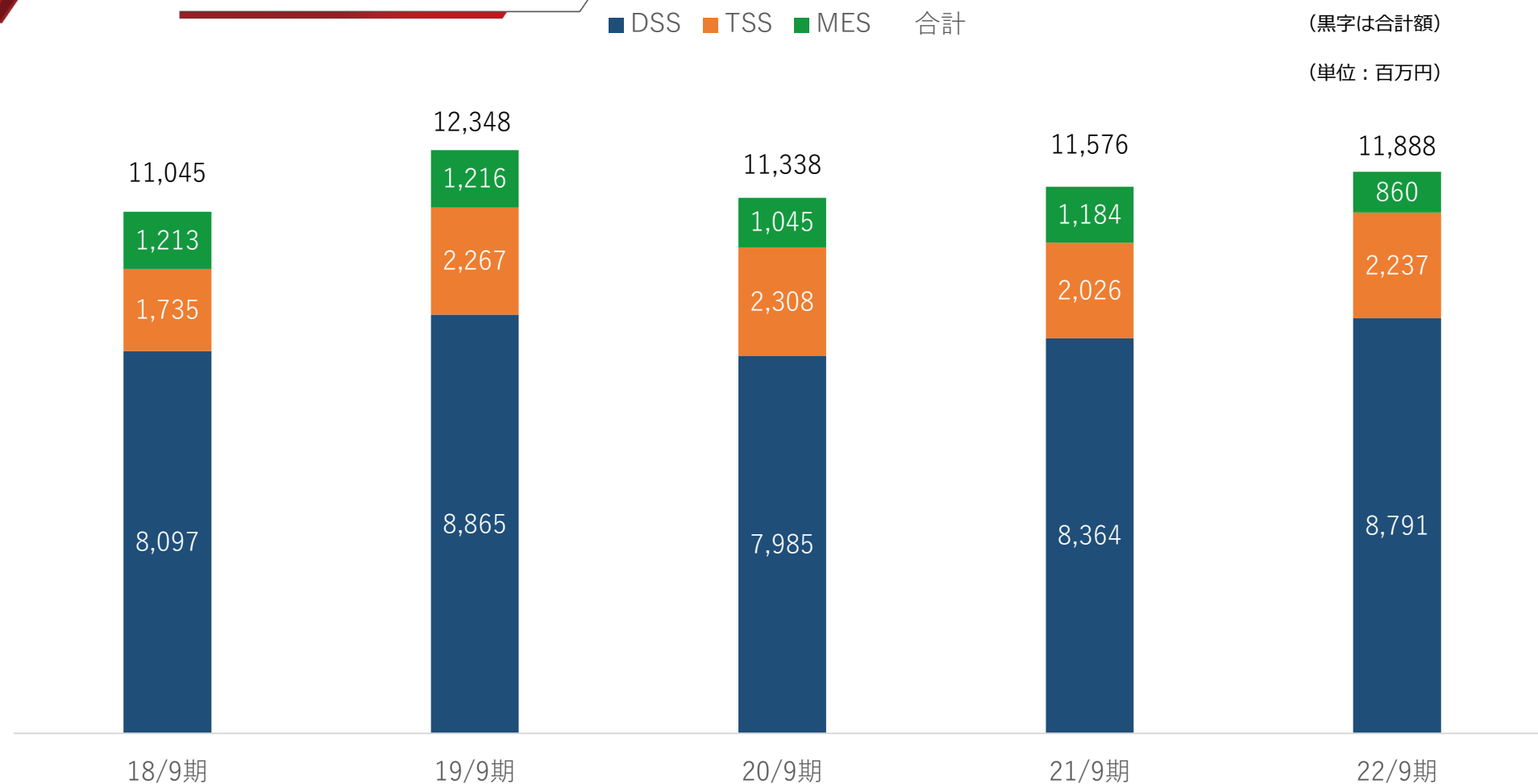
	21/9期	22/9期	前年同期比	コメント
設備投資額	181	416	+235	●設備投資額は主にTSS受託試験施設向け振動試験機の更新によるもの
減価償却費	602	574	△28	●研究開発費は組織体制変更による人件費の振替、新サービスへの投資等によって前年同期比で大きく増加
研究開発費	392	774	+382	
期末株価（円）	568	432	△136	●獲得した利益を安定的に株主に還元すると共に、株主及び機関投資家との対話を通じてIR活動の充実を図る
期末時価総額	9,632	7,325	△2,307	

営業利益増減要因



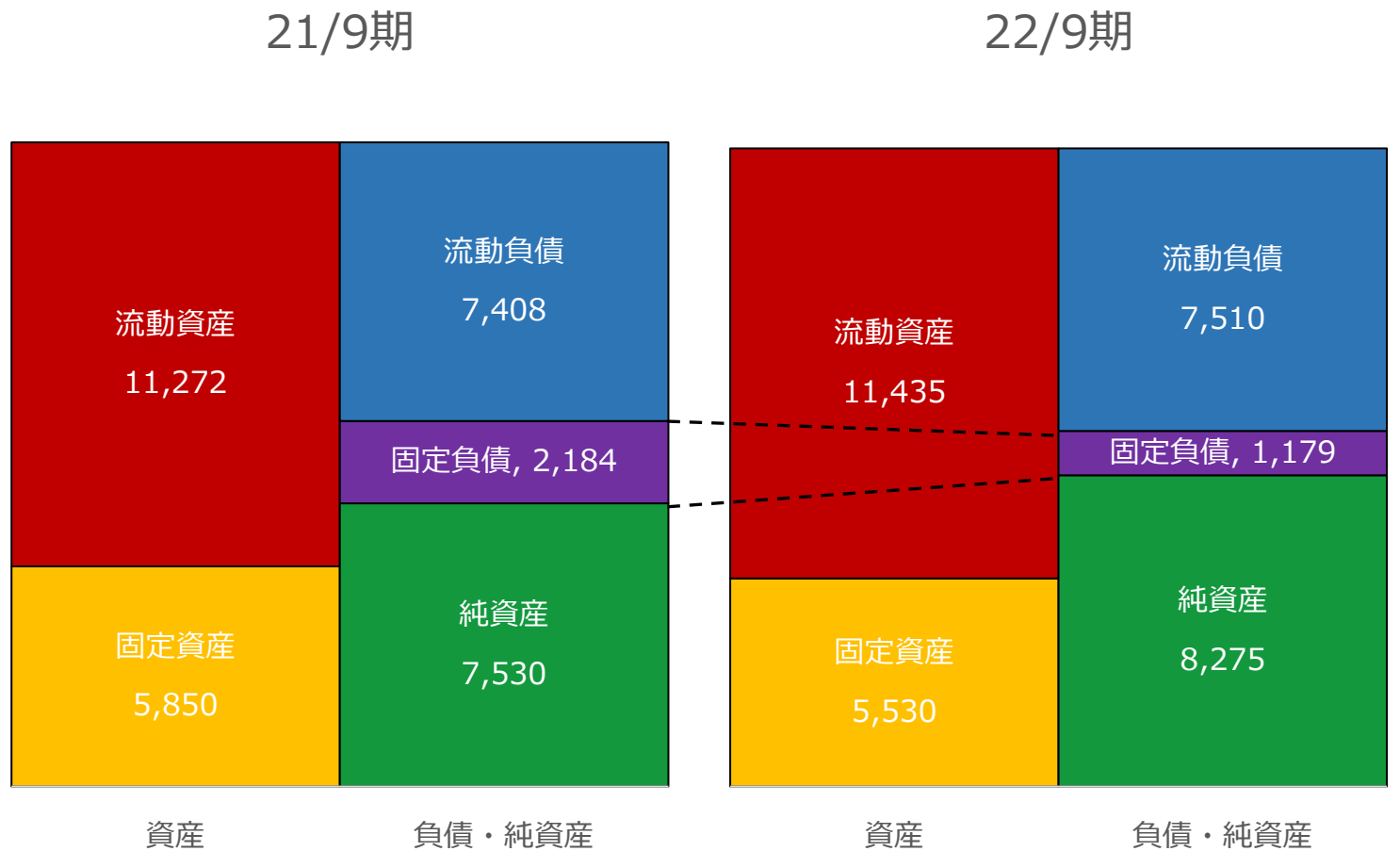
21/9期 営業利益	1,067
売上高変動による影響	97
売上原価率変動による影響	242
研究開発費変動による影響	△382
その他の販管費変動による影響	△199
22/9期 営業利益	825

事業別 売上高推移



資産の状況 ①

(単位：百万円)



自己資本比率
 21/9期 43.9%
 22/9期 **48.8%**
 (+4.9%)

資産の状況 ②

(単位：百万円)

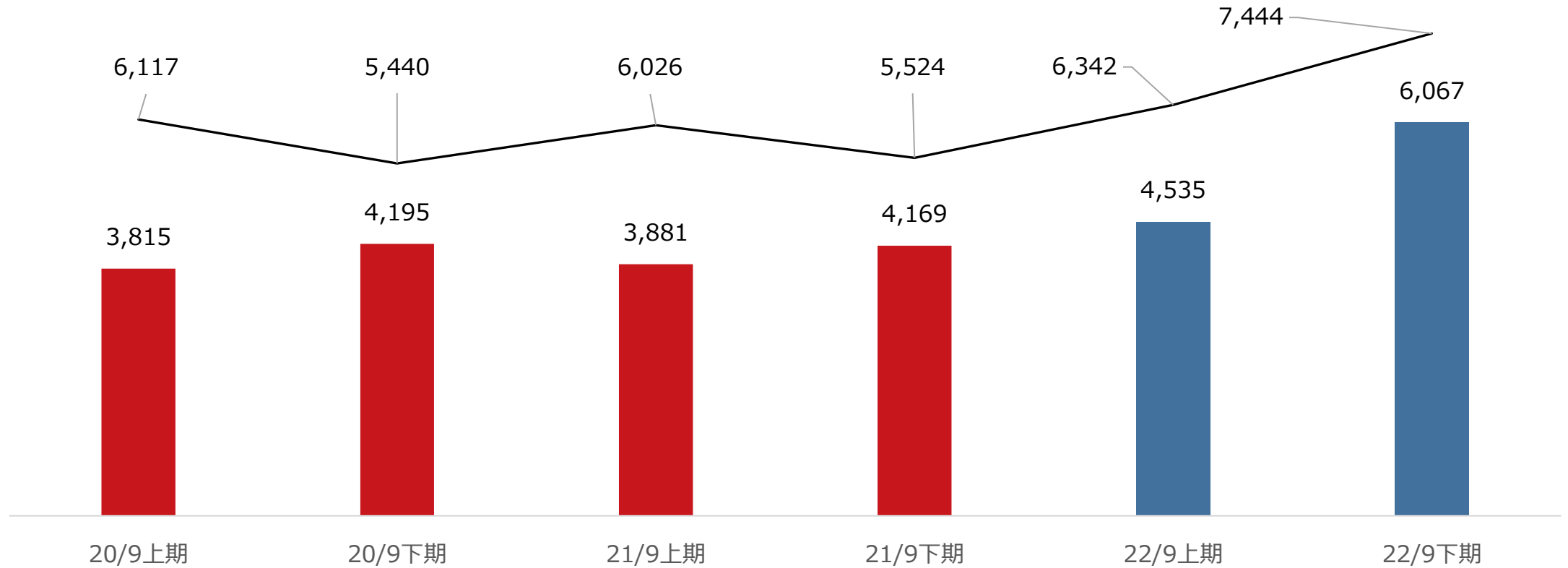
	21/9期	22/9期	増減
当座資産	7,987	7,656	△331
その他の流動資産	3,285	3,778	493
流動資産計	11,272	11,435	162
有形固定資産	5,124	4,879	△246
無形固定資産	74	86	12
投資その他の資産	652	565	△87
固定資産計	5,850	5,530	△320
資産合計	17,122	16,964	△158

	21/9期	22/9期	増減
流動負債	7,408	7,510	108
固定負債	2,184	1,179	△1,010
負債計	9,592	8,689	△903
自己資本計	7,514	8,275	761
非支配株主持分計	16	-	△16
純資産合計	7,530	8,275	745
負債純資産合計	17,122	16,964	△158

受注の状況

(単位：百万円)

■ 受注残高 — 受注高

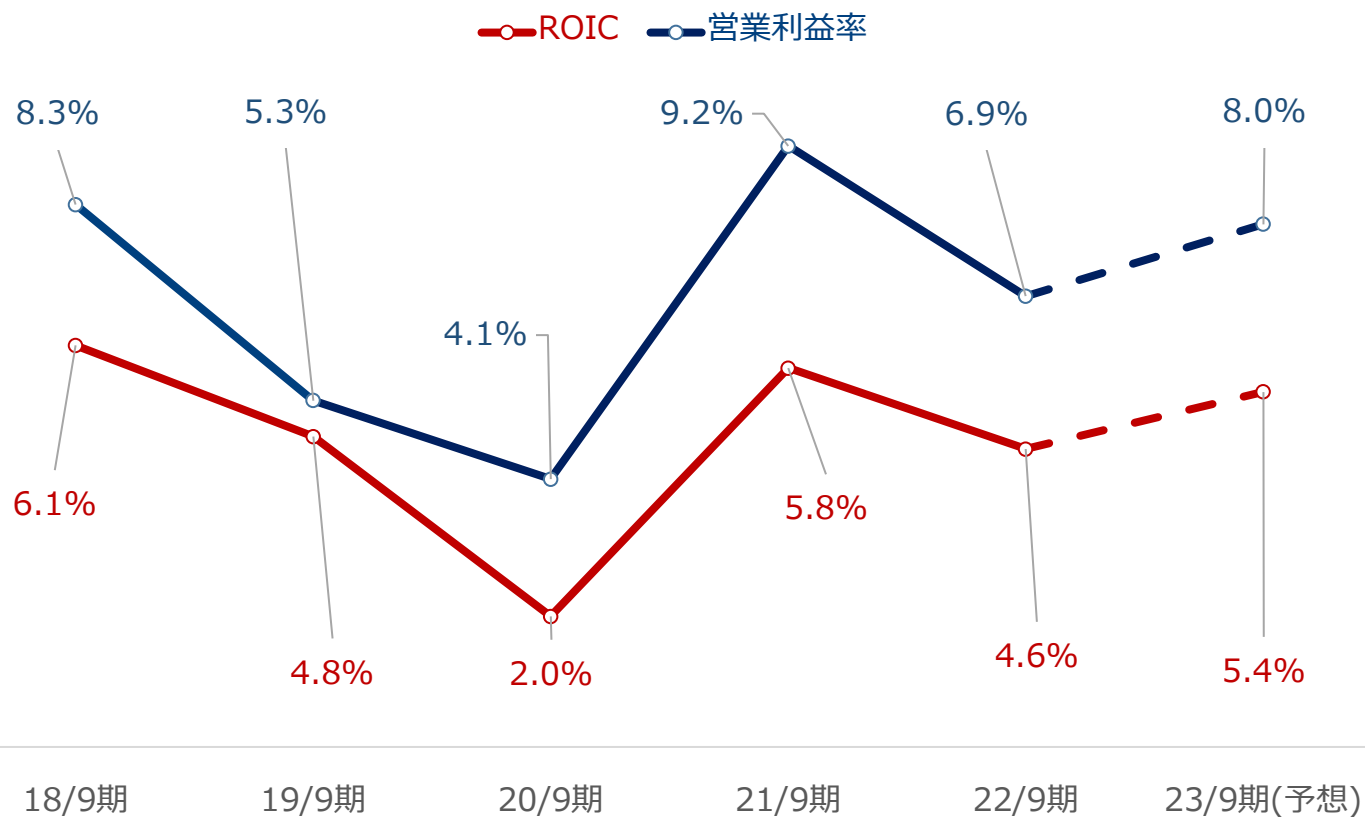


業績の見通し（連結）

（単位：百万円）

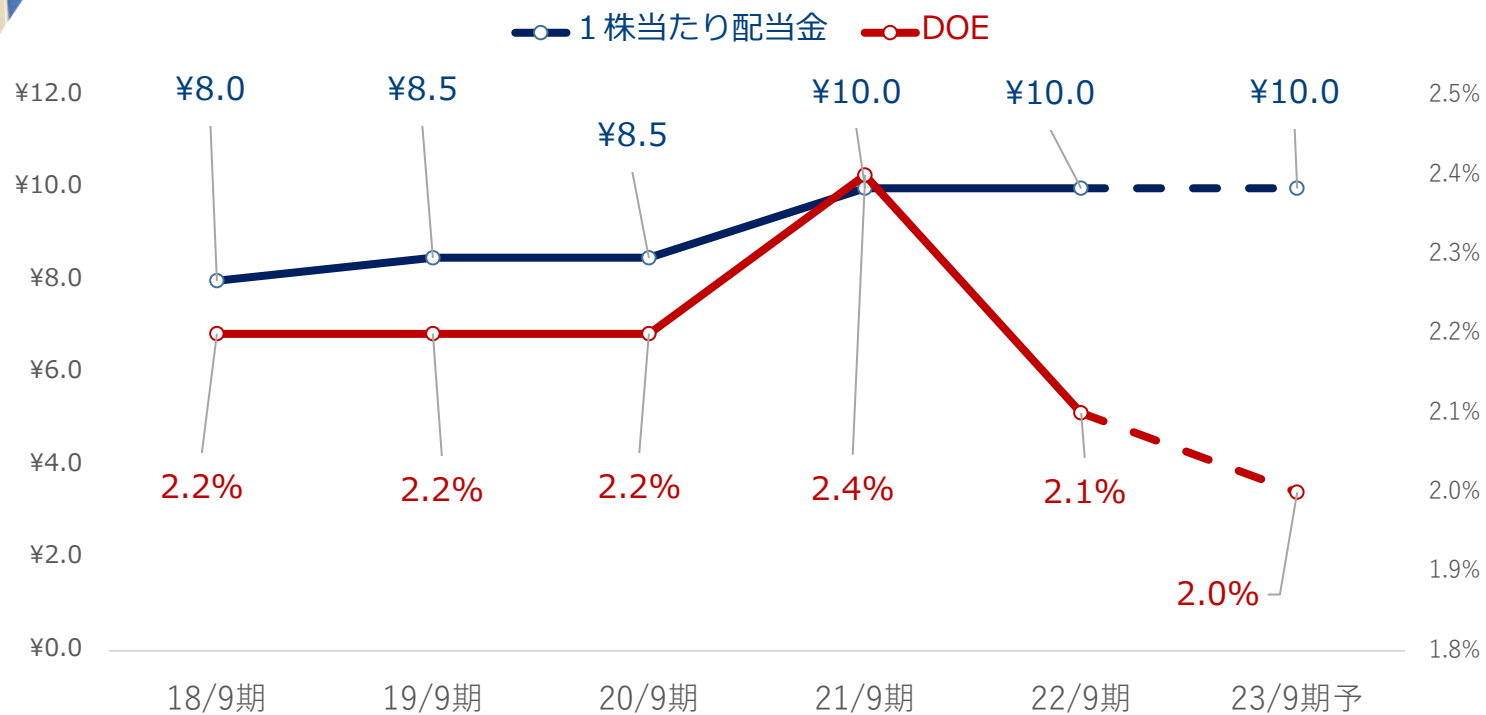
	22/9期実績	23/9期予想	前年度比	コメント
売上高	11,888	12,500	105.1%	● 受注残高が増加していることから来期売上は125億円の予想
営業利益	825	1,000	121.2%	
経常利益	1,237	1,000	80.8%	
当期純利益（親会社株主帰属）	1,065	690	64.8%	● 電気料金の高騰の影響や、為替差益等の営業外損益を想定しないことなどから経常利益は減少する見込
売上高営業利益率	6.9%	8.0%	+1.1%	
1株当たり当期純利益	65.4	42.3	64.6%	● 世界経済への予測困難なリスクや、電子部品の入手困難性などに引き続き注視
1株当たり配当金（円）	10.0	10.0	-	
設備投資額	416	451	108.6%	
減価償却費	574	459	80.1%	
研究開発費	774	861	111.3%	

営業利益率及び投下資本利益率（ROIC）の推移



- 18/9～20/9期は国内施設及び海外子会社向けの積極投資に伴う固定費の増加が先行した結果、営業利益率、ROIC共に低下傾向
- 22/9期の売上高は伸長するものの、研究開発費の増加や運送費用の世界的な高騰により営業利益率は減少
- 23/9期の営業利益率、ROICは増収効果により増加見込
- 効率的な資本投入により収益性の向上に努めるとともに、資本効率のさらなる向上を目指し、ROIC8%以上の水準を目標に取り組む

配当金及び株主資本配当率（DOE）の推移



安定的かつ継続して配当を実施することを基本方針とし、1株あたり配当金を安定的にすることで株主への還元を重視

上記に加え、中期経営計画においては資本効率を考慮した株主還元を実施するため、株主資本配当率（DOE）2.5%を目標とする

配当額	162	130	138	138	162	- (百万円)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------

目次

Agenda

1. 2022年9月期決算サマリー

2. 各種の取り組み

3. Appendix



MES

Measuring Systems
メジャリングシステム

防災BU (BU=ビジネスユニット) の発足

》 地震計事業から防災事業へのドメイン拡大を図る為、 防災BUを発足

**地震計事業を防災事業へ、ドメイン拡大を図る3か年とし、
IMVが総合防災企業に転換する中期経営計画の着実な推進を図る**

(1) 「日本一の地震計メーカー」になる

既存領域の「地震計事業の民需」に加え、
下記へのアクセスを拡大していく

- ・ 官公庁需要
- ・ ODA (海外開発援助)

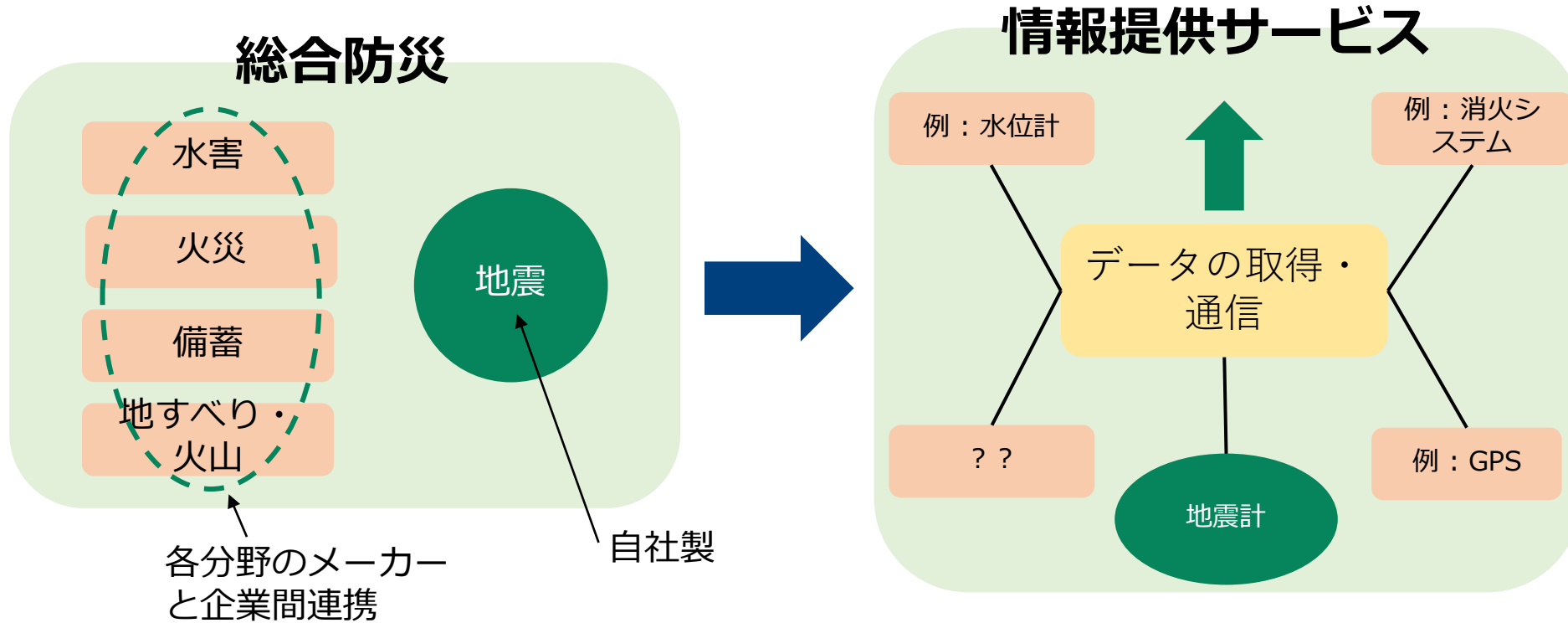
(2) 「総合防災企業」へ転換する

確立した販路に対し防災ドメインの製品も投入する。
実現に際し、製品はM&Aも視野に入れ、スピード成長を図る



総合防災企業として目指す「分野」とは

➤ 地震計日本一に並行して、以下の分野で企業間提携を通じてラインナップを拡充し、販路構築を図る



これらの製品を揃えたうえで、そこから得たデータを通信でつないで人々に危険を知らせる「情報提供サービス」を付加価値とした防災企業である

予知保全BU (BU=ビジネスユニット) の発足

➤ FA業界進出への足掛かりとして「振動予知保全用途」に絞り、
【予知保全BU】を発足

FA (ファクトリーオートメーション) 業界に「振動予知保全」という
新しい価値を提供し、長期でFA市場に本格参入する

- (1) FA業界の雄である三菱電機様の「機器パートナー」に正式採用
(2022年6月)
- ↓
- (2) 三菱電機様の販路にて振動予知保全製品を拡販
(三菱グループの高木商会様と2022年にスタート)
- ↓
- (3) FA用途にタッチするモノづくり企業との連携を推進し、
予知保全から脱皮し事業規模を追求する
- ↓
- (4) 産業用ロボットをはじめとするFAの有望分野への滲み出しを行い
振動制御に特徴を持ったFA企業として君臨する



三菱電機グループとの協業

正式な機器パートナーとして2022年6月から始動

- 機器パートナーとして
三菱電機様のHPにIMVが掲載



出典：三菱電機様HP
<https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/ssl/sols/psm/psh/solution/detail/?companyid=ab7f618b-ff10-453a-a35f-35922b5b01a6&solutionid=cca5f0a0-39d5-4c9e-8ac4-feb59829a0d5>

- 高木商会様との協業
三菱グループのFA事業を支える、FA業界では指導的な技術商社



出典：高木商会様HP
<https://www.takagishokai.co.jp/product-search/2021/10/06/542>





 **IMV CORPORATION**

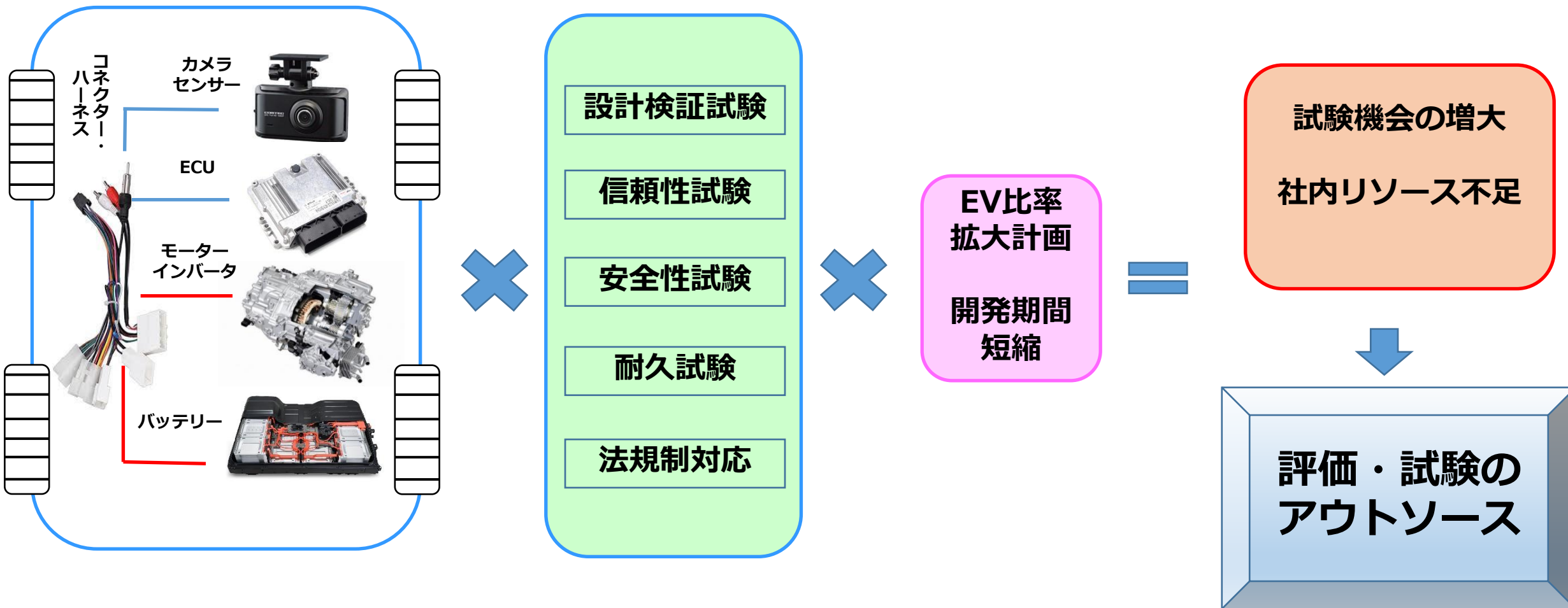
TSS

Test & Solution Service

テスト&ソリューションサービス

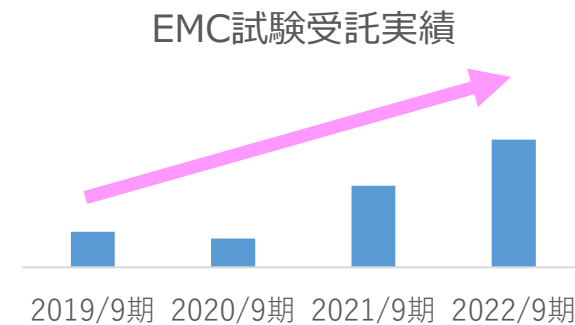
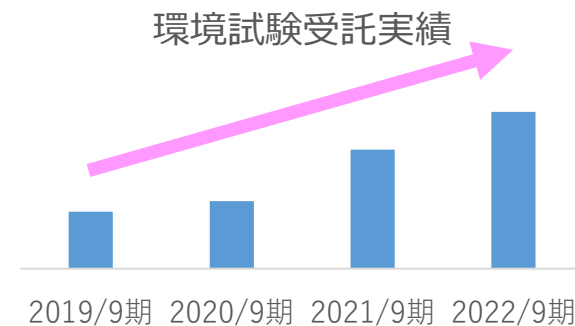
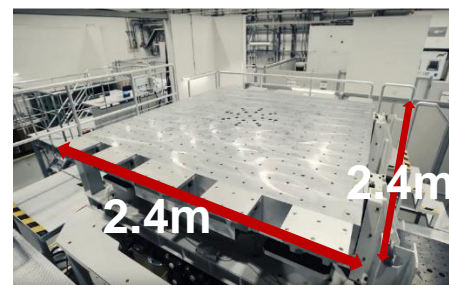
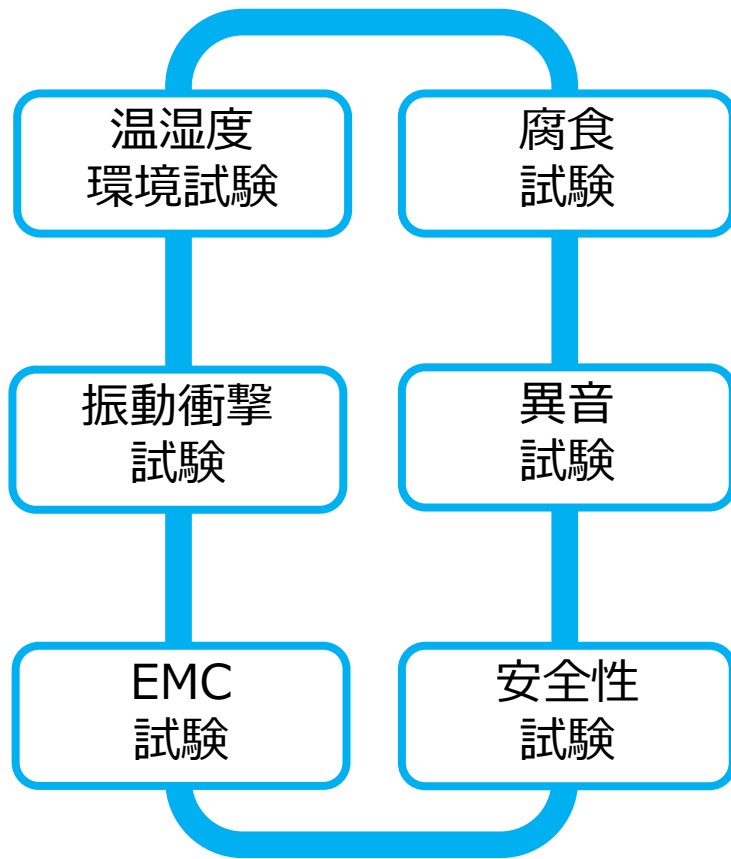
増大するEV試験需要への対応

EV/HEVの普及に伴い、主要部品であるバッテリー、モーター、インバーター、強電ハーネスの試験需要が増加



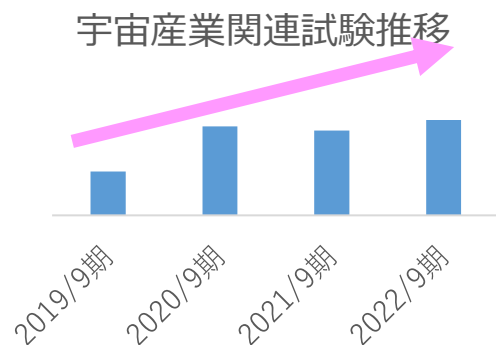
試験のワンストップサービスの提供

総合的な評価・試験をワンストップで提供

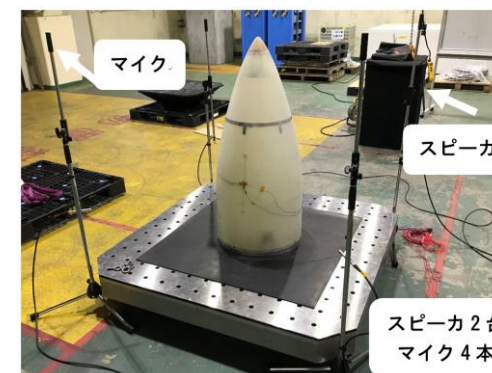


拡大する民間宇宙開発の試験需要への対応

民間ロケット打ち上げに向けた宇宙関連機器の開発が活発化する中で、宇宙関連試験の実績をもとに、試験、衝撃、音響に関する試験・測定の実施及び試験方法のコンサルティングの提供機会が増加



2022年1月：インターステラテクノロジズ株式会社に出資





DSS

Dynamic Simulation Systems

振動試験装置

DSS 事業の新しい挑戦①

➤ 環境試験ソリューション戦略： 『お客様とつながる（課題解決）』

1. デンソー様 とシミュレーション結果の精度向上の検証
2. レンゴー様 と輸送振動試験における時間短縮方法の検証

DSS 事業の新しい挑戦①

➤ お客様とつながる（課題解決）：『デンソー様との取組み』

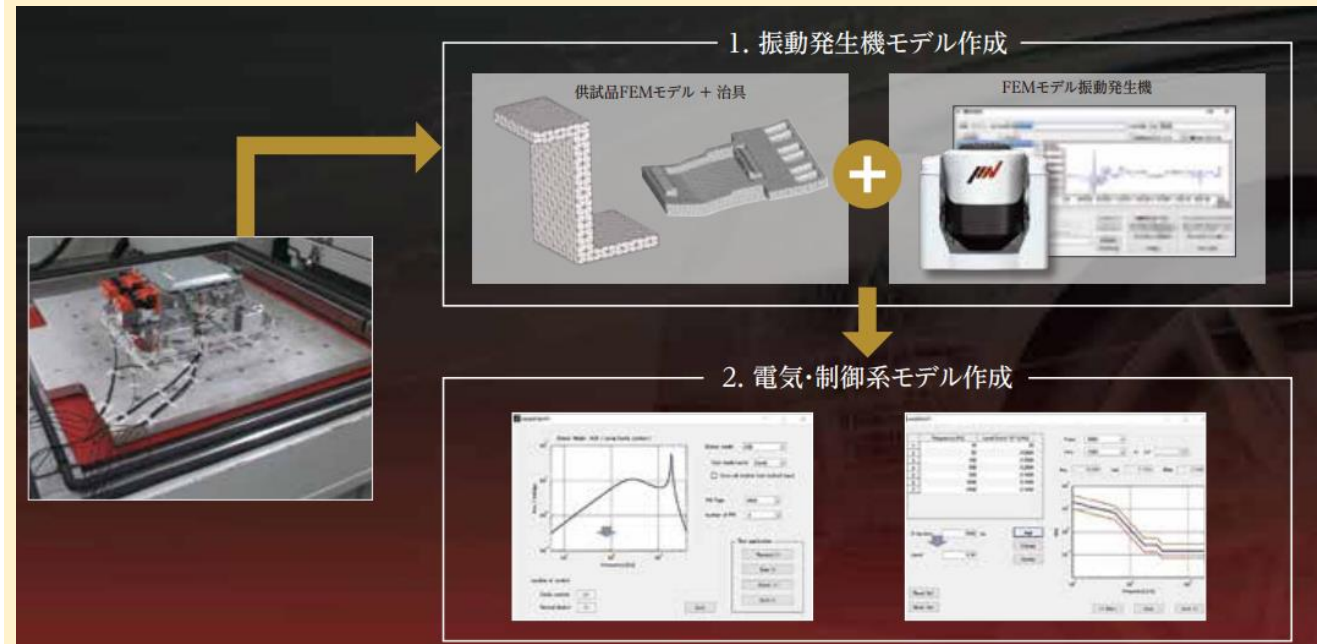
◆ 振動試験バーチャル化における課題 = 『シミュレーション結果 と 実試験結果が異なる』
(理想) (現実)

➔ (仮説)
シミュレーション精度が向上しないのは、
振動試験装置自体の情報が入力されていないからではないか？
(×→試験品モデルのみ)
(○→試験品モデル + 装置モデル)

➔ (結果)
① 振動試験装置、治具(固定器具)、試験品を含む
全体系のシミュレーションが実施可能である
② 試験品固定箇所の3軸加速度応答値が、
ある周波数範囲で精度よく予測可能である
* 3軸…X(横), Y(縦), Z(高さ)

ただし、まだまだ課題あり
さらなる検証が必要

➔ (IMVが提供できる価値) 振動試験装置のモデル化



DSS 事業の新しい挑戦①

▶ お客様とつながる（課題解決）：『レンゴ様との取組み』

◆ 輸送振動試験における課題 = 『1軸ずつ加振するので試験時間が長い。3軸同時試験を行い時短を図れないか？』

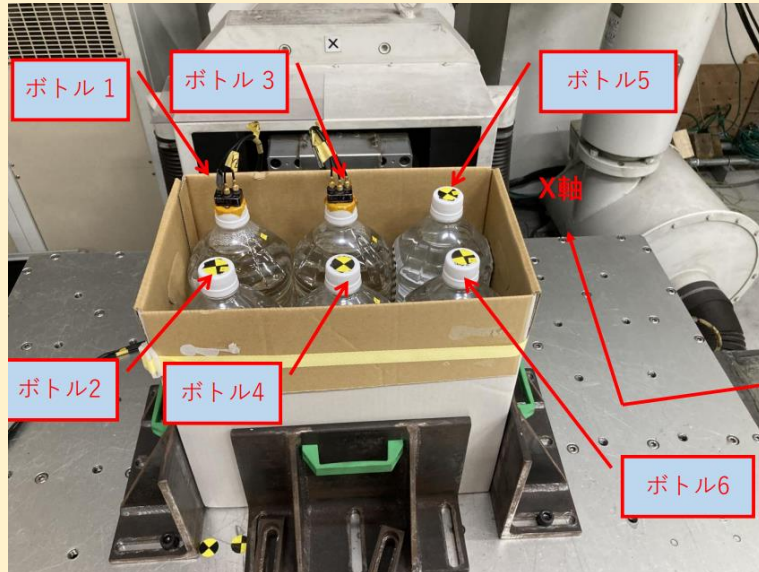
➡（仮説）

1軸加振の試験条件を、3軸からの同時加振を行うことで試験時間を短縮できるのでは？

※ある試験条件で検証を実施

➡（IMVが提供できる価値）

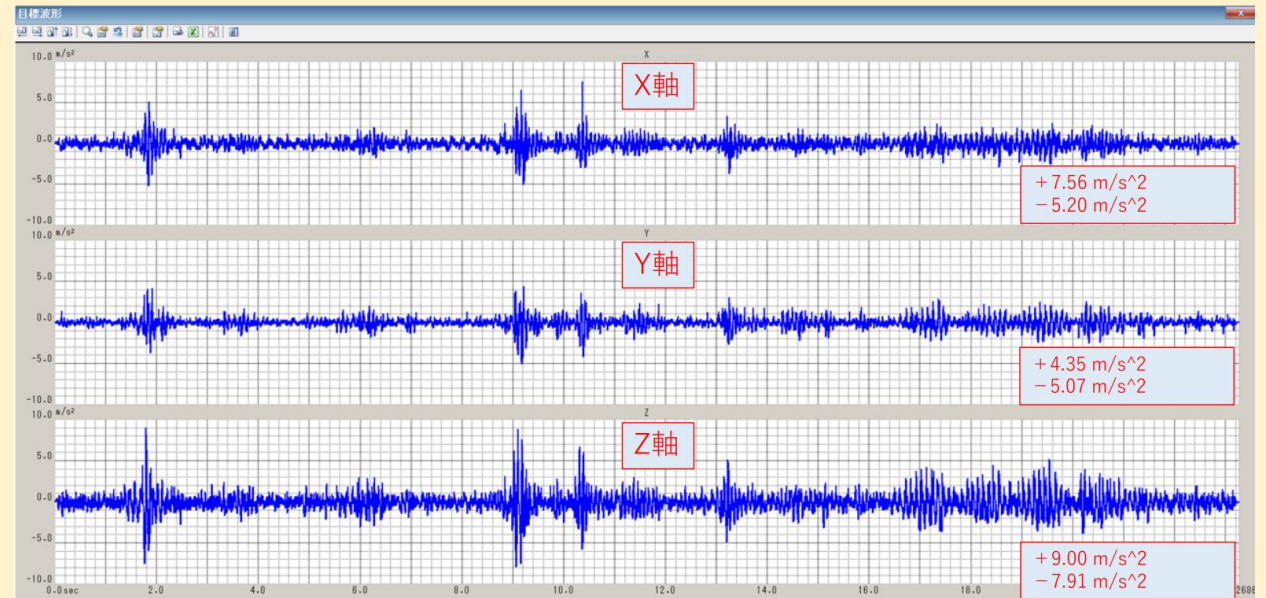
検証方法と実験結果、検証結果の提供



➡（結果）

ある試験条件において、1軸加振時よりも3軸同時加振の方が製品へのストレスが大きいことが分かった。
この結果から時短方法を検証していく

3方向実測波形



DSS 事業の新しい挑戦②

➤ IMVコンシェルジュ：『大手自動車部品メーカー様との取組み』



【IMVコンシェルジュの主な機能】

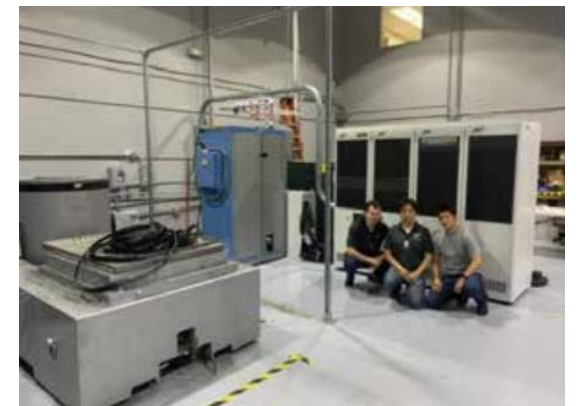
- 試験が正しく行えているか？
- 振動試験装置の状態監視
- メンテナンス時期のお知らせ
- 試験品の取付け位置のアドバイス
- 振動試験実施可否の判断

★2023年にお客様へ導入決定！！

DSS : エンジニアリングサービスの展開

≫ お客様とつながる

1. ISO17025校正 サービス開始し、契約獲得
2. お客様の装置を停止させない活動 定期点検契約数増
3. ECO化活動 他社製装置にIMV製ECOアンプを提供





IMV CORPORATION



IMV CORPORATION

iMV cloud

振動試験業務の現場が抱える課題

» ニューノーマルな働き方への対応

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに
出張や出勤を最小限にするための遠隔ソリューションのニーズが拡大

» 少子高齢化への対応

熟練技術者の高齢化と、若年就業者の減少
熟練技術者からの確実な技術・ノウハウ伝承の必要性
少人数で効率的かつ安定的に試験を行う必要性

iMV cloud とは

お客様の**振動試験業務**を
通信とクラウド技術を活用し
強力にサポートするシステムです



最新の制御器「K2+」の
オプション機能としてご提供*

* 2022年4月～

iMV cloud による課題解決

» 働き方改革

- ・インターネットを介して、オフィスや自宅から試験状況を確認

» 試験ノウハウの共有、技術伝承

- ・全試験履歴（条件・結果）をクラウドに自動保存
- ・特定の試験対象品／開発プロジェクトの試験履歴や、関連するドキュメントを束ねて管理

» いつでもIMVとつながる安心感

- ・K2+操作の遠隔サポート、自動アップデート

iMV cloud ご利用イメージ

お客様サイト

- ① データの自動アップロード
- ・装置稼働状況
 - ・テスト定義、テスト結果



振動試験装置
制御器 (K2+)



iMV cloud
通信ユニット



iMV cloud
ワークスペース
(保存領域)

- ② 各種クラウド機能の利用
- ・試験稼働状況の監視
 - ・試験条件・結果の確認
 - ・関連ファイルのアップロード
 - ・権限管理、プロジェクト管理



<https://imv-cloud.com>



お客様

- ③ 遠隔サポート
- IMVスタッフがリモートログインし
遠隔からK2+画面を閲覧、操作、サポート
(K2+操作時は、顧客の許可が必要)




設置イメージ




iMV cloud ご利用イメージ

動作状況



カメラ01



目標	22.891 m/s ² rms
応答	22.3837 m/s ² rms
ドライブ	63.4 mV rms
レベル	0 dB
温度	22.20 °C

試験一覧

担当者で検索 拠点指定なし

試験名で検索 供試品名で検索

絞り込む

詳細	状態	種別	試験名	開始日時
詳細	正常終了	NonGaussian		2022/05/1
詳細	正常終了	MultiSweepSine		2022/05/1
詳細	正常終了	MultiSweepSine		2022/05/1
詳細	正常終了	MultiSweepSine		2022/05/1
詳細	正常終了	Shock		2022/05/1
詳細	正常終了	ROR		2022/05/1
詳細	正常終了	SOR		2022/05/1
詳細	正常終了	Random		2022/05/1
詳細	正常終了	Sine Spot		2022/05/1
詳細	正常終了	Sine Sweep		2022/05/1

直近試験一覧

試験一覧

全試験一覧 終了試験一覧 稼働試験一覧

試験中 ROR

ROR.ror2

開始日時 2022/05/16 16:21:37

試験ID 2022051616153090082-02-9C-F3-78-1D2

拠点 IMV大阪本社 システム開発用拠点

機器名称 大阪開発棟 I230

割り当 詳細

正常終了 SOR

SOR.sor2

開始日時 2022/05/16 16:15:27

試験ID 2022051616092211182-02-9C-F3-78-1D1

拠点 IMV大阪本社 システム開発用拠点

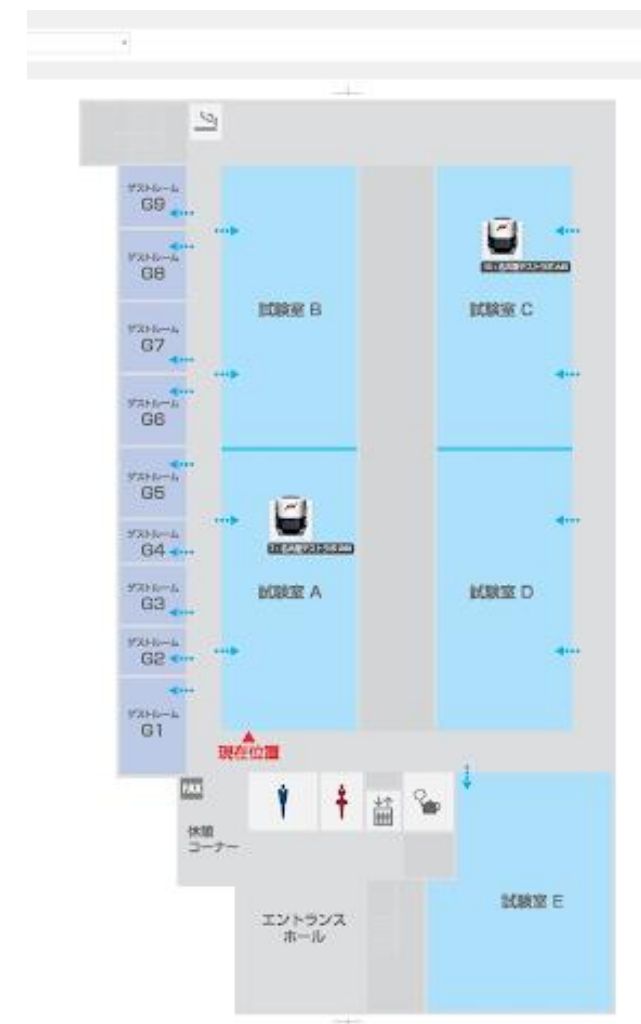
機器名称 大阪開発棟 I230

割り当 詳細

正常終了 Random

Random.ran2

開始日時 2022/05/16 16:13:44



広島大学様の事例

導入の決め手



iMV cloud 通信ユニット

- セキュリティが高く、安全に振動試験の状況を遠隔で監視できる
- iMV cloudサービスは、広島大学で研究しているテーマ『振動の見える化』と合致しており、非常に興味深い
- 通信速度の高速化が進むと、広島大学で研究を進めている振動スペクトルカメラによる遠隔での製品挙動の確認も行えるので、iMVcloudサービスとの融合に期待している

i-PRO様の事例

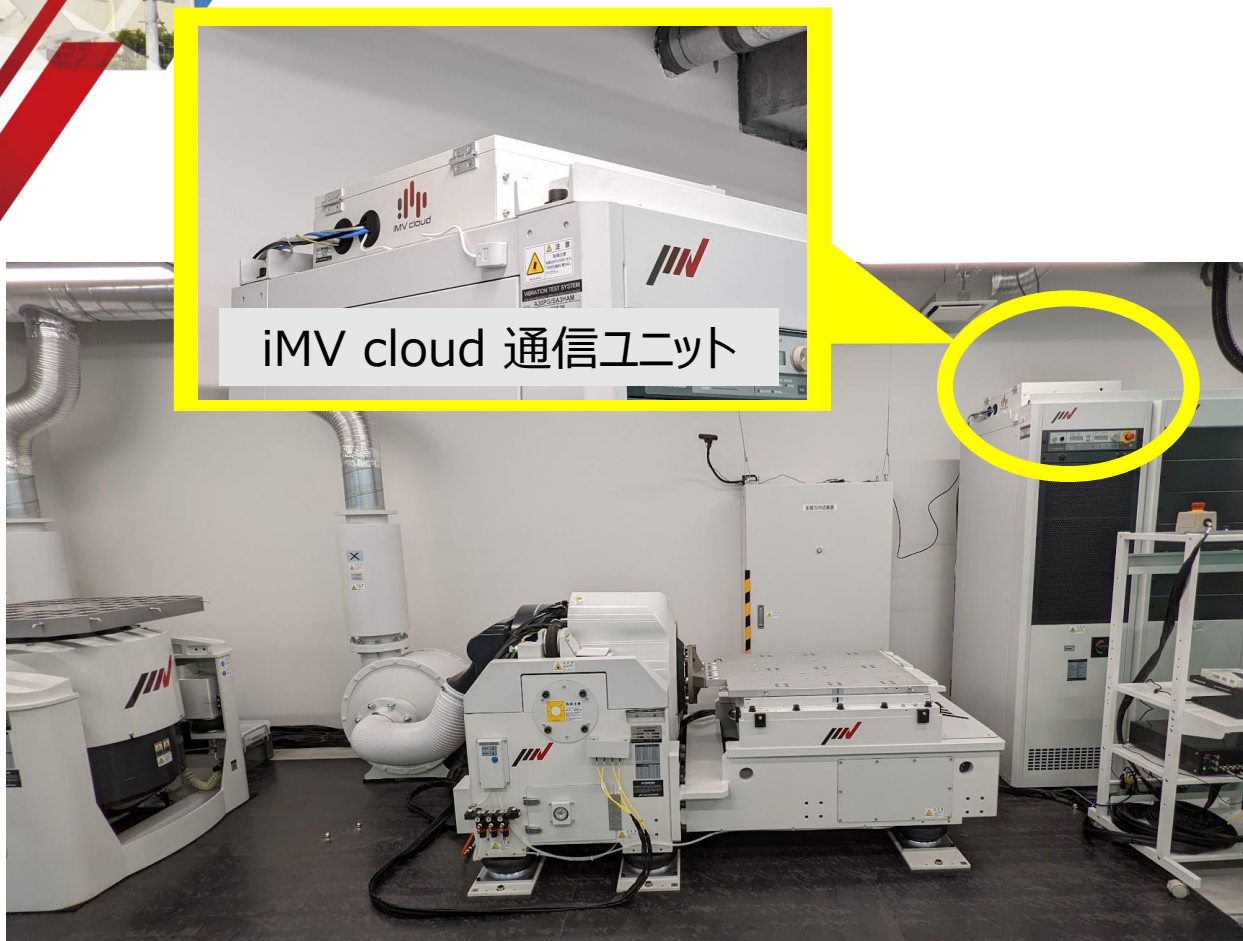
※ 2019年10月、パナソニックから画像センシング事業を行う会社として独立

導入の決め手

- 試験データ等を一元管理するための「オンラインストレージ」が非常に有用
- 試験状況を遠隔で確認
(装置を設置している部屋と事務所が離れている)
- 複数部門で装置を共用できる
(他部門の履歴をクラウド上で一元管理)
- IMVによる遠隔サポート

▼iMV cloudを使用した感想

- 試験実施時に使用する治具(固定器具)は形状が様々
…「どの治具をどの試験に使ったのか」が
分からなくなることがある
⇒ iMV cloud 上で一元管理することで「探す」
という無駄な時間を削減!
- 携帯電話やPCで簡単に試験実施状況を確認できる点が良い
- 今後さらに機能が充実するということなので、期待しています
(特にスケジュール管理機能に期待!)



iMV cloud 通信ユニット

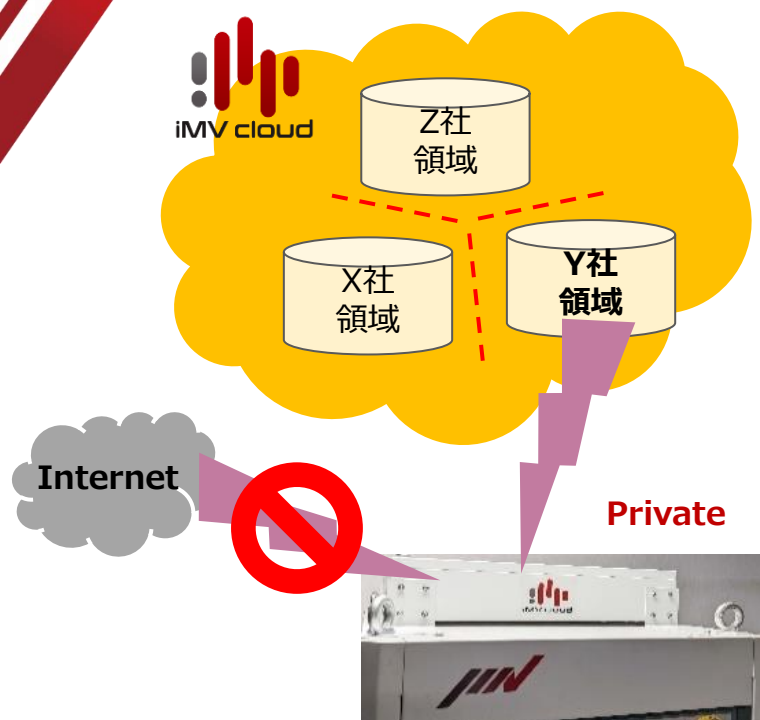
iMV cloud のセキュリティ

» プライベート（閉域）接続

- ・ 装置からクラウドまでは、インターネットに出ない特別な設計
- ・ お客様の社内ネットワークから完全に分離
- ・ クラウド内で、各社の領域は厳しくアクセス制御

» 第三者機関のセキュリティ診断

- ・ システム全体に対して、定期的に第三者機関のセキュリティ診断を実施
- ・ 診断時点で想定されるリスクに対してはすべて対処





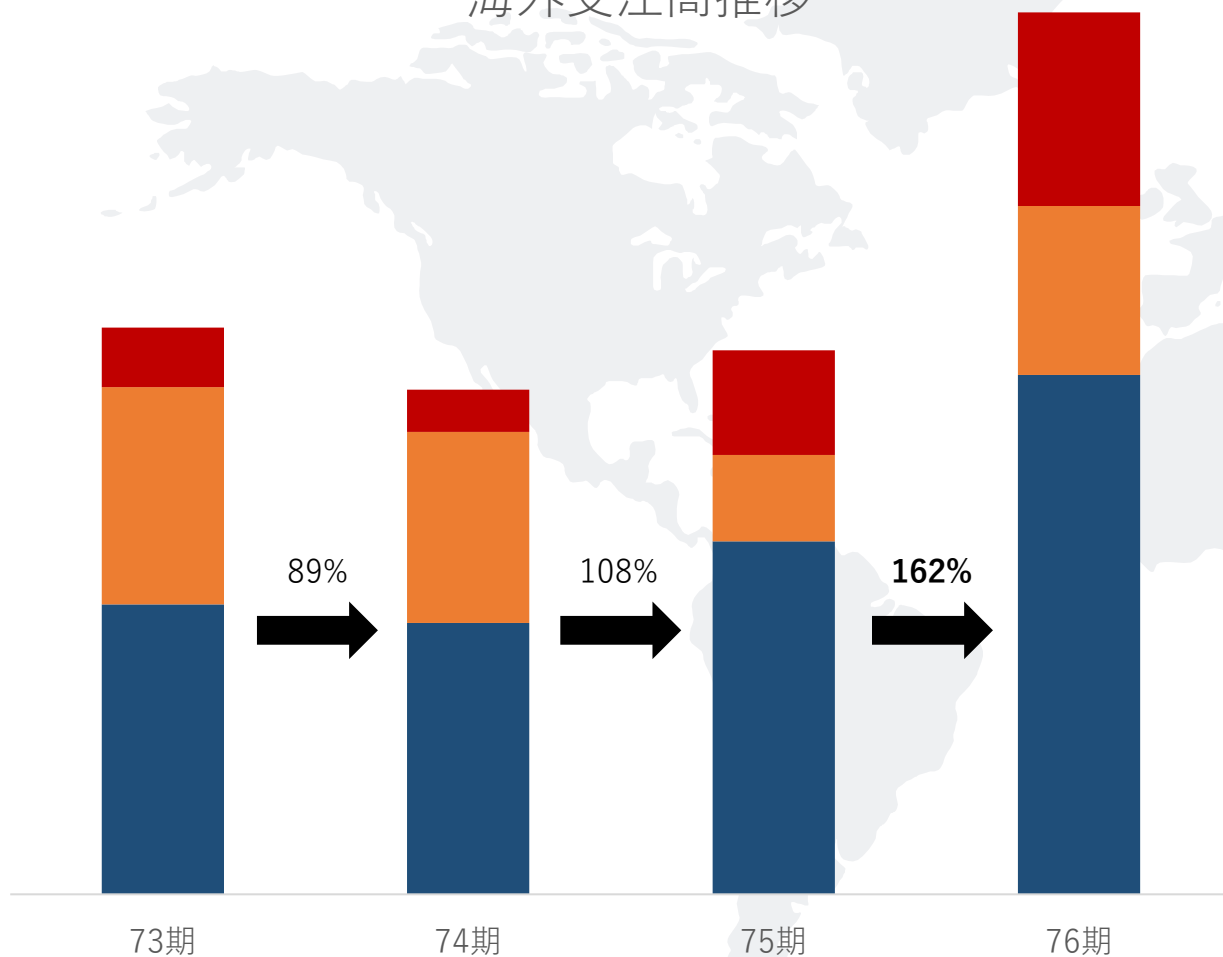
IMV CORPORATION

海外実績

海外受注動向（振動シミュレーションシステム）

振動シミュレーションシステム

海外受注高推移



■ 北米
■ アジア
■ 欧州

北米市場

- ・ COVID-19からの回復
- ・ EV化の影響 / 航空宇宙関連の投資拡大
⇒ **今までの取組が結実し、市場を開拓**
(前期比 185%)

アジア市場

- ・ COVID-19からの回復
(欧米よりは弱い回復)

欧州市場

- ・ COVID-19からの回復
- ・ EV化の影響による市場拡大



海外市場で何が起きているか？

✓ EV化の波





自動車部品の大型化

試験装置の大型化；製品単価アップ
大型装置の受注件数増
(9台/75期、15台/76期)
工場生産キャパのアップ



設計・評価のアウトソース化

民間・公的試験所からの受注増



新製品・新技術の急速な発展

政府の支援・補助が投資を後押し
設備更新機会の増加



異業種からの新規参入

新規顧客開拓の機会

EV化がもたらす影響②

バッテリー関係海外取引先（一部）

社名	カテゴリ	国名
非公開	完成車メーカー	Italy
非公開	完成車メーカー	India
非公開	完成車メーカー	UK
APPLUS	エンジニアリング・評価・認証サービス	UK
TUV-SUD	エンジニアリング・評価・認証サービス	USA
RISE	エンジニアリング・評価・認証サービス	Sweden
非公開	エンジニアリング・評価・認証サービス	Germany
FEV	エンジニアリング・評価・認証サービス	Germany
TUV-Rheinland	エンジニアリング・評価・認証サービス	Germany
非公開	バッテリー製造会社	Germany
CATARC	政府機関自動車技術研究センター	China
PATAC	米GMと中国上海汽車との合弁会社（車両開発・評価）	China

EV化がもたらす影響③





海外市場で何が起きているか？

- ✓ EV化の波
- ✓ 航空・宇宙産業



Satelliteビジネス

Airbus (UK)

航空宇宙・防衛関連企業 (Italy)

総合試験・評価機関 (USA)



Mobilityビジネス

宇宙旅行関連会社 (USA)

エア・タクシー関連会社 (Germany)



Defence ビジネス

防衛関連企業 (Italy)

防衛関連企業 (UK)

装備品メーカー (USA)

目次

Agenda

1. 2022年9月期決算サマリー
2. 各種の取り組み
3. Appendix

会社概要

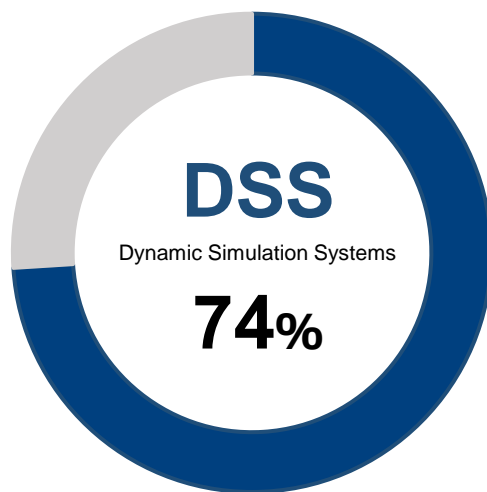
Company Profile

商号	》》	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	》》	1957年（昭和32年）4月17日
資本金	》》	4億6481万円
従業員数	》》	405名（2022年9月30日現在 連結）
年間売上高	》》	118億8,800万円（2022年9月期 連結）
上場証券取引所	》》	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	》》	7760
決算期	》》	9月30日

事業セグメント | 売上構成比

Business Segment

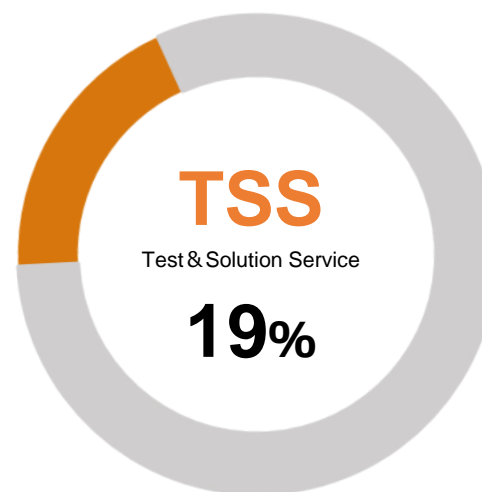
振動試験装置



振動試験装置の販売



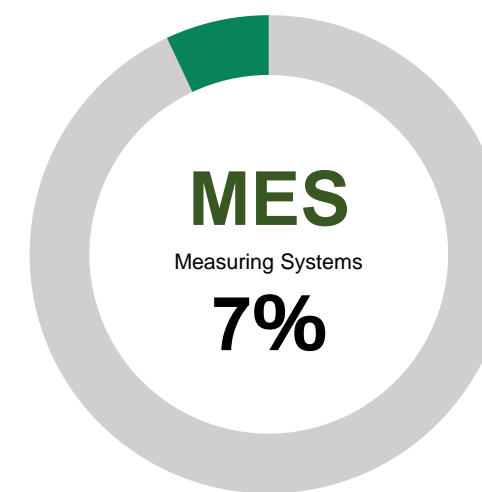
テスト&ソリューションサービス



受託試験サービス



メジャリングシステム



振動計測製品の販売



2022年9月期
売上高比率

国内拠点

Domestic bases

Osaka | 大阪



- ▶ 本社
- ▶ 大阪営業所
- ▶ 大阪テストラボ
- ▶ 大阪エンジニアリングサービス部

Uenohara | 上野原



- ▶ 上野原サイト
高度試験センター

Tokyo | 東京



- ▶ 東京営業所
- ▶ 東京エンジニアリングサービス部

Sagamihara | 相模原



- ▶ MESエンジニアリングサービス部
- ▶ 東京テストラボ

Nagoya | 名古屋



- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 名古屋テストラボ
- ▶ 名古屋エンジニアリングサービス部

Kasugai | 春日井



- ▶ 春日井テストラボ

Iruma | 入間



- ▶ 日本高度信頼性評価試験センター

国内子会社

» (株)振研
八王子市

» 日東精機(株)
大阪市西淀川区

DSS 製品ラインアップ

振動試験装置

従来機より性能が向上したAシリーズはこれまで不可能だった試験を可能にします。また、省エネ装置や恒温恒湿槽なども提供しています。



水冷式大型振動試験装置

大型の振動試験機でありながら、水冷式を採用することにより、試験中の騒音を最小限に留め、試験環境の向上を実現した製品です。



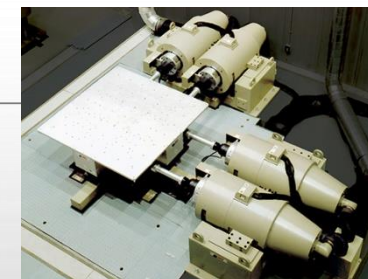
振動制御器 K2+

ハードウェア・ソフトウェア全てを自社開発し、複雑な試験でも簡単に実施可能にします。



多軸多点振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



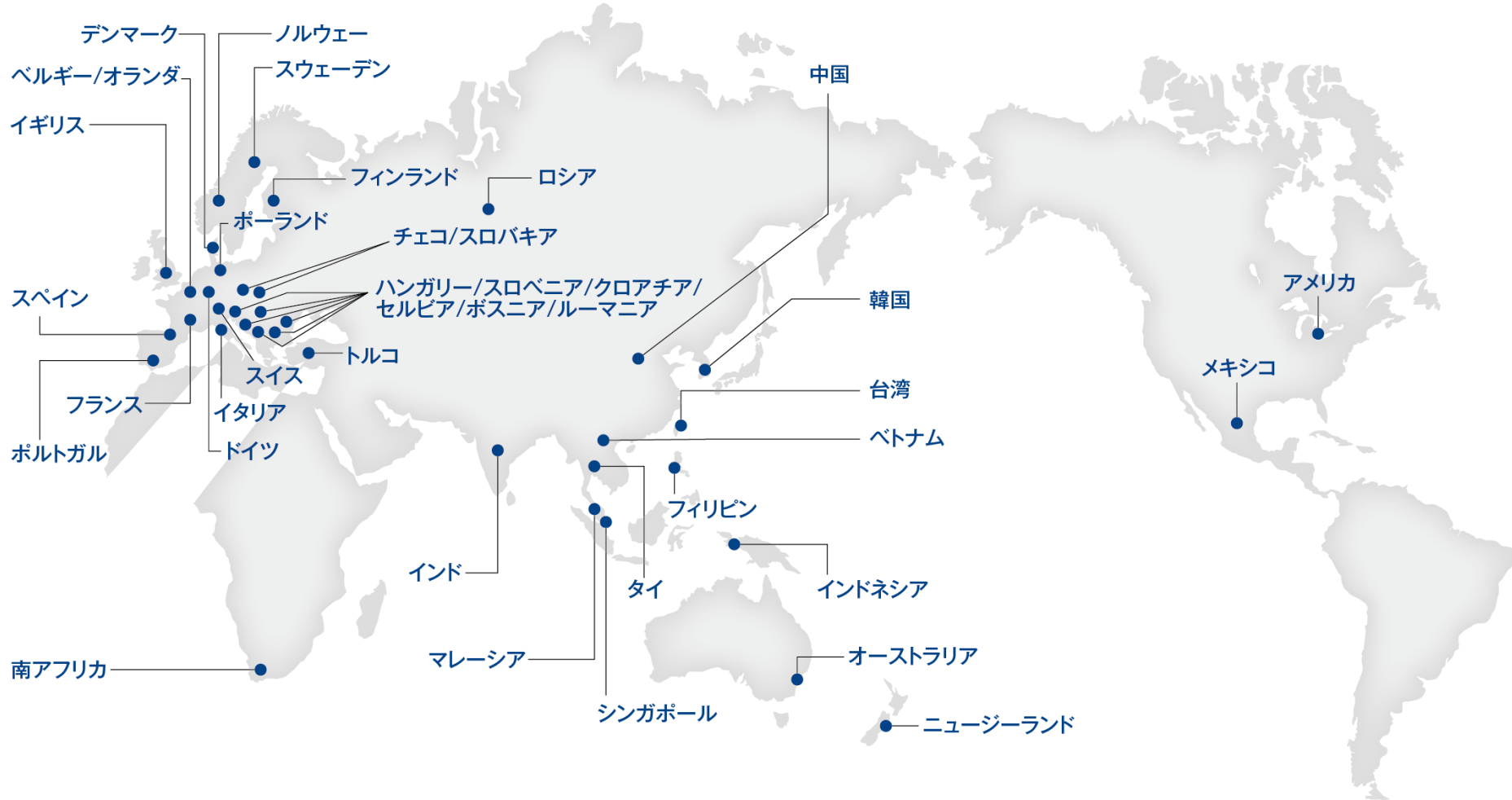
振動試験トータルシュミレーション

振動試験中の供試品の挙動を詳細に予測するシステムを導入し「計測」「シュミレーション」「治具製作」とすべてを内包した高付加価値なサービスを提供します。

小型振動試験装置、高周波振動試験装置

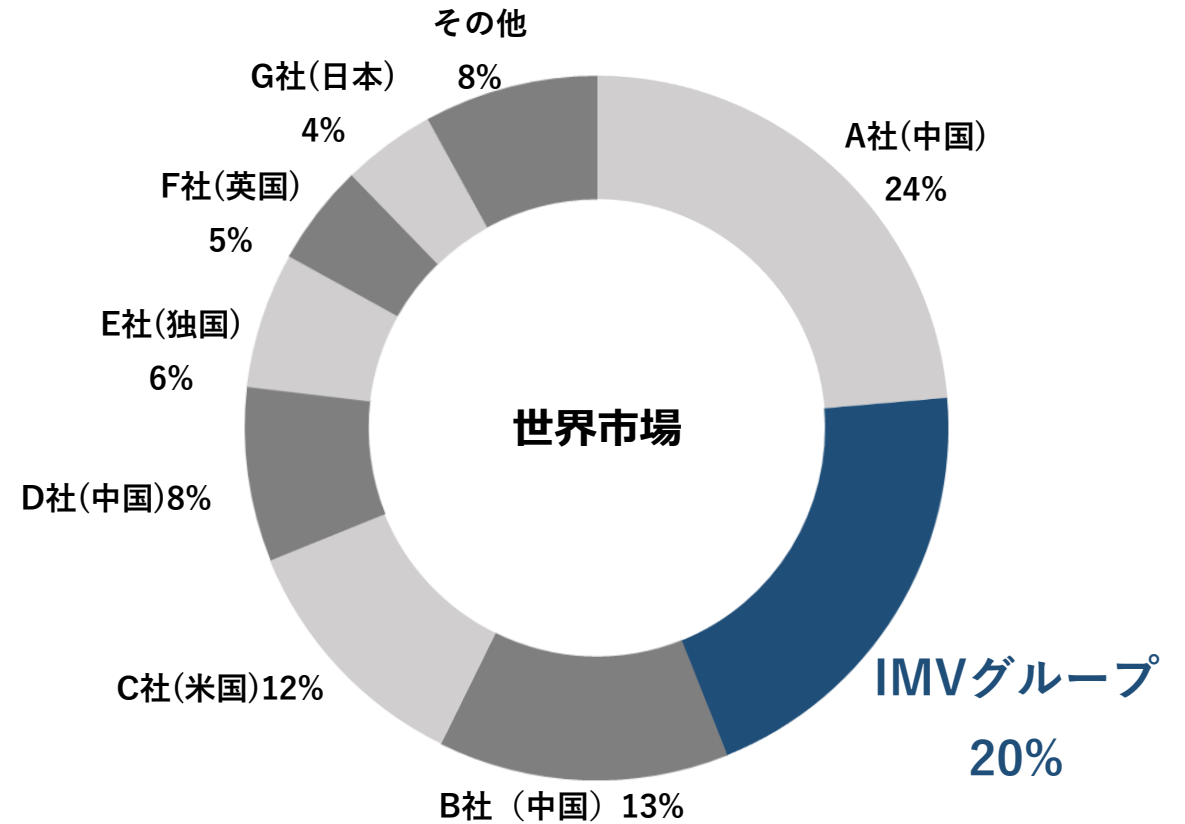
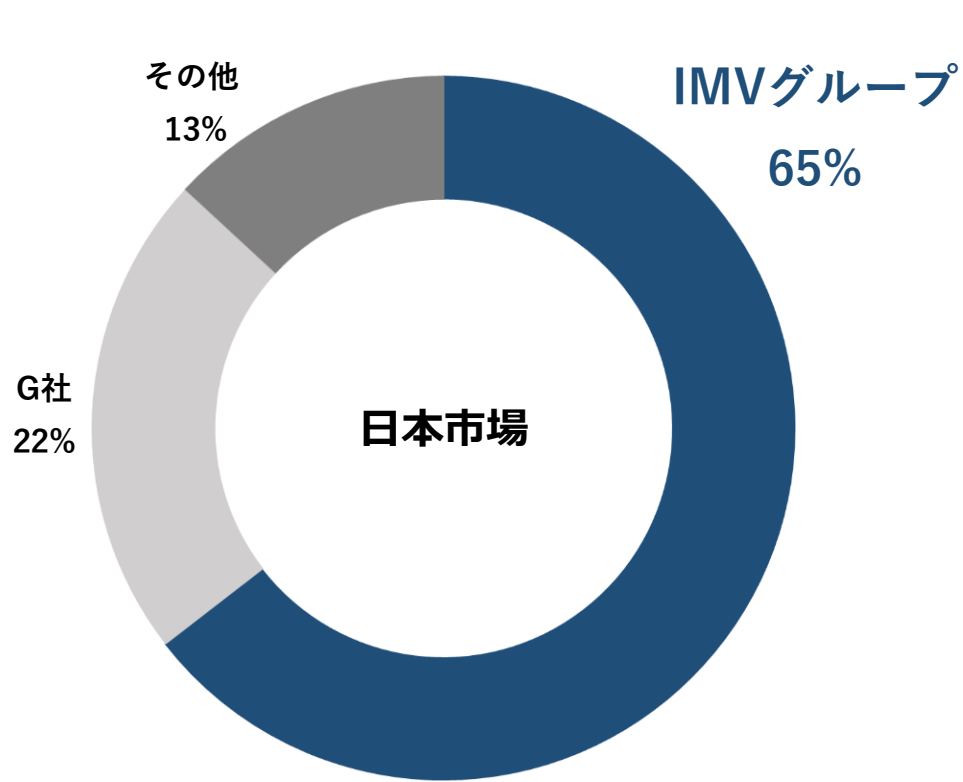
小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能な装置です。さらに、小型振動試験装置と恒温槽を組み合わせることで2k~10kHzまでの高周波の複合試験が可能な攻守は振動試験装置もあります。

DSS セールス&サービスネットワーク



DSS 販売シェア状況（当社独自調査）

Sales Share of DSS



IMVテストラボの事業紹介

大阪テストラボ



大阪市西淀川区竹島2-6-10
開設:2005年

- 振動試験
- 電池試験

名古屋テストラボ



愛知県みよし市根浦町5-2-18
開設:2007年

- 振動試験
- EMC試験
- 電池試験

東京テストラボ



神奈川県相模原市緑区日連870
開設:1988年

- 振動試験

Thailand



IMV(THAILAND) CO., LTD
アマタナコン工業団地
開設:2011年

- 振動試験
- 環境試験

上野原サイト高度試験センター



山梨県上野原市ハツ沢2193-28
開設:2015年

- 振動試験
- 電池試験

日本高度信頼性評価試験センター



埼玉県入間市宮寺4102番142
開設:2018年

- 振動試験
- EMC試験
- 環境試験

春日井テストラボ



愛知県春日井市上条町3-24-5
開設:2019年

- 振動試験

Vietnam



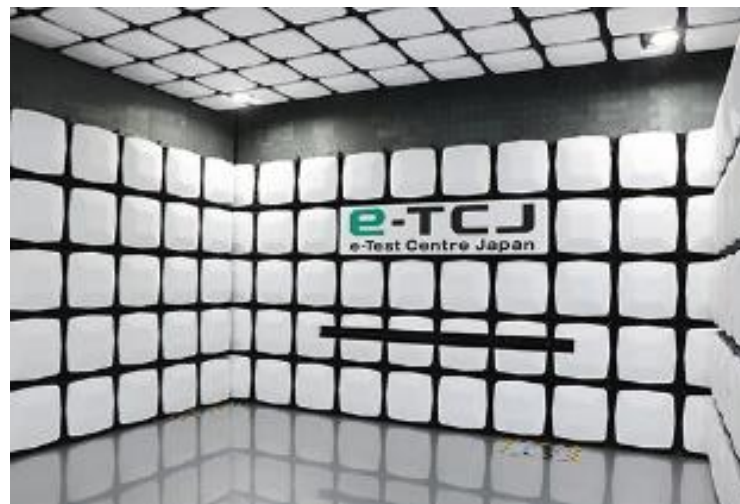
IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD
タンロン工業団地
開設:2018年

- 振動試験
- 環境試験

IMVテストラボの紹介

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振（長尺物）環境も備えています。また、振動試験以外にもハイストレス温度サイクル試験や塩水噴射試験など様々な環境試験に対応しています。

- ≫ 小型～大型機まで充実のラインナップ
- ≫ 自動車、航空宇宙、電子機器など様々な業界において2万件を超える試験実績
- ≫ シミュレーション試験技術の開発



IMVテストラボの紹介

特長ある試験サービスと業界屈指の試験環境

》 小型～大型機まで充実のラインナップ

小型から大型まで豊富な振動試験設備を保有しており、特に大型タイプは業界屈指のラインナップを有します。また複数加振機による多点加振（長尺物）環境も備えています。約半数は恒温槽を備える複合試験対応機となっており、これら多様な機器群によりフレキシブルな試験サービスを提供します。

》 信頼性評価

e-モビリティ（電気自動車の大型モータやインバータ等）の信頼性評価試験や電池専用の試験室を構築。大型の電池試験品など大規模な試験室を要する場合は外部サイトと連携し、当社エンジニアによる試験計画策定・コンサルティングを提供するサービスも実施しています。

》 EMC試験対応

電気・電子製品から放出される電磁波を測定し、規格で決められた範囲内に収まっているかを評価するエミッション（EMI）測定と、電磁波による誤動作の起こりやすさを評価するイミュニティ（EMS）試験の2つで構成されたEMC試験にも対応しています。

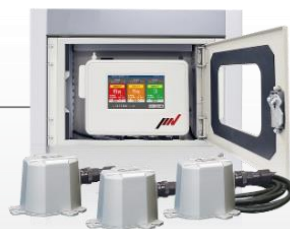
》 環境試験対応

ハイストレス温度サイクル試験や塩水噴射試験など様々な環境試験に対応しています。

MES 製品ラインアップ

地震監視装置

地震を常時監視し、発生時には設備を緊急遮断することにより二次災害の防止に貢献します。



地震監視装置

IoT関連製品

機械の状態監視と地震時の緊急対応両方でIoTでの活用を想定した製品を取り揃えております。



ラムダパイプロ

FA用振動センサ

安価なMEMS素子でも10kHzまで正確に測れる超小型ピックアップをはじめ、多様なラインナップを取り揃えております。



超小型ピックアップ

振動計測装置

床振動から機械装置の回転振動まで、あらゆる振動を計測します。



WiFiポータブル振動計

構造ヘルスマニタリングシステム

ビルや橋梁といった構造物の多点に設置し、地震時および定期的に加速度波形を収集し速報や健全性を評価します。



ワイヤレスタイプ長周期モニタリングシステム

振動監視装置

発電所やポンプなどの機械振動を常時監視し、予防保全に活躍します。



接触式振動監視装置

MES 防災ビジネス活動

》》 地震計の国際標準化活動

地震発生時の避難誘導、重要設備の停止、地震発生後のビルやダムなどの建造物の健全性の確認等で日本では様々な場面で地震計が活用されています。しかし、海外では防災としての地震計活用が普及していません。

IMVはスマート都市インフラの防災に関する国際標準化を検討するISO/TC268/SC1/WG6で、日本が提案した地震計の国際標準化に向けて主管企業として活動を行っています。国際会議ではトルコ、ギリシャ、中国などの国が参加して地震計の国際標準化の検討を行っています。



地震監視装置
TM-0013-SW & SW-52ST

SECURE THE FUTURE



IMVが見守る未来

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。



FIRST choice
for our Partners

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解下さい。

そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。